

【第46回(令和7年度)助成研究テーマ一覧】

分野	番号	区分 ^{注1)}	研究者 (敬称略)	所属(大学・研究機関)	役職等	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間 ^{注2)}
地球環境	1	若手	宮崎 真太	(国研)産業技術総合研究所 エネルギープロセス研究部門	研究員	多元機能触媒による革新的排ガス中CO2回収・水素化プロセスの開発	1,500	初 2-1
	2	若手	芳野 遼	東北大学 金属材料研究所 錯体物性化学研究部門	助教	CO2の高効率な触媒変換を指向した多孔性錯体ナノケージの開発	1,500	初 2-1
	3	若手	近藤 義大	三重県工業研究所 金属研究室金属研究科	主任研究員	カーボンニュートラル材料として竹炭を活用した鑄造技術の開発	1,500	継続 2-2
	4	若手	丸岡 大佑	八戸工業高等専門学校 マテリアル・バイオ工学コース	助教	水素還元製鉄に資する炭素/金属鉄コアシェル材の蓄熱・浸炭特性	1,400	継続 2-2
	5	若手	石田 洋平	九州大学 大学院総合理工学研究院	准教授	水と二酸化炭素から有用物質を作り出す人工光合成システムの開発	1,500	継続 2-2
	6	一般	畑中 健志	(国研)産業技術総合研究所 エネルギープロセス研究部門	主任研究員	鉄鉱石を使ったCO2からの連続炭素製造プロセスの開発	1,500	初 2-1
	7	一般	飯塚 淳	東北大学 大学院環境科学研究科	教授	二酸化炭素の炭酸塩鉱物化反応機構に関する検討	1,500	2-1
	8	一般	宇敷 育男	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 化学工学プログラム	准教授	深共晶溶媒を含浸させた多孔性無機材料の創製とCCUSへの展開	1,500	3-1
	9	一般	坪内 直人	北海道大学 大学院工学研究院	准教授	銀系化合物による水素の活性化と二酸化炭素の有用化合物への転換	1,500	3-1
	10	一般	石谷 治	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 化学プログラム	特任教授	排ガスに含まれる低濃度CO2の還元資源化を目指す光触媒開発	1,500	3-1
	11	一般	佐藤 賢之介	山梨大学 大学院総合研究部工学域 土木環境工学系	准教授	高炉スラグを用いた低炭素型コンクリートの電力貯蔵性能の評価	1,500	初 3-1
	12	一般	布谷 直義	大阪大学 大学院工学研究科	助教	安全な条件で二酸化炭素をメタンへと資源化する新規触媒	1,500	初 3-1
	13	一般	宮崎 英樹	(国研)物質・材料研究機構 電子・光機能材料研究センター	上席研究員	単一波長赤外カメラによるCO2ガス漏洩量の定量計測手法の開発	1,500	継続 3-2
	14	一般	萩 崇	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	教授	ケミカルルーピングの高効率化を指向した酸化鉄微粒子の構造化	1,500	継続 3-2
	15	一般	押木 守	北海道大学 大学院工学研究院環境工学部門	准教授	光水分解×水素細菌による革新的CO2固定・有機物合成	1,500	継続 3-2
	16	一般	増田 秀樹	鈴鹿医療科学大学 薬学部	客員教授	水中で高効率に水素を生成する電気化学的ニッケル錯体触媒システム	1,500	継続 3-2
	17	一般	張 麗華	北海道大学 工学研究院エネルギー・マテリアル 融合領域研究センター	准教授	炭酸鉄水中結晶光合成を利用した常温フォトメタネーション	1,000	継続 3-3
	18	一般	畠 俊郎	広島大学 先進理工系科学研究科 社会基盤環境工学プログラム	教授	生体模倣機能に着目した新たな炭素固定能力付加型地盤材料の提案	1,000	継続 3-3
	19	若手	夏井 俊悟	東北大学 多元物質科学研究所	准教授	溶融酸化物電解製鉄法を高効率化する新規電気化学システム設計	1,500	継続 2-2
	20	一般	柴田 悦郎	東北大学 多元物質科学研究所	教授	減圧電熱還元による高リン鉄鉱石の気化脱リンと還元鉄の製造	1,500	継続 2-2

【第46回(令和7年度)助成研究テーマ一覧】

分野	番号	区分 ^{注1)}	研究者 (敬称略)	所属(大学・研究機関)	役職等	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間 ^{注2)}
地球環境	21	一般	村上 太一	東北大学 大学院環境科学研究科 先端環境創成学専攻	教授	次世代高炉における低温還元粉化現象の全圧依存性の検討	1,500	継続 3-2
	22	一般	本田 充紀	日本原子力研究開発機構 本田未来粘土材料研究開発ラボ	ラボリーダー	高温排熱活用に資する粘土鉱物熱電材料の導電機構解明	1,500	初 1-1
	23	一般	秦 慎一	山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部医薬工学科	講師	廃熱発電シートに用いるp型およびn型有機半導体材料の最適設計	1,500	2-1
	24	一般	小原 伸哉	北見工業大学 工学部地球環境工学科	教授	数十℃の小温度差で充放電可能な高効率ガスハイドレート物理電池	1,500	2-1
	25	若手	塚本 孝政	東京大学 生産技術研究所 物質・環境系部門	講師	量子サイズ効果を利用したGHS変換触媒の新規開拓	1,500	初 1-1
	26	若手	大友 亮一	北海道大学 大学院地球環境科学研究院 物質機能科学部門	准教授	N2O分解のためのコバルト系ペロブスカイト型酸化物触媒の開発	1,500	初 2-1
	27	若手	坂部 綾香	京都大学 農学研究科森林科学専攻	助教	森林土壌における温室効果ガス動態の長期的な環境応答性の解明	1,500	継続 2-2
	28	若手	赤嶺 宗子	沖縄工業高等専門学校 機械システム工学科	講師	低環境負荷ジオポリマーコンクリートの放熱性に関する研究	1,500	継続 2-2
	29	一般	加藤 優	北海道大学 大学院地球環境科学研究院 物質機能科学部門	准教授	金属ドーパカーボンナノ細孔反応場での高効率N2O電解浄化	1,500	初 2-1
	30	一般	柏倉 俊介	立命館大学 グローバル・イノベーション研究機構	研究教員(准教授)	産業連関分析によるグリーンスチール生産のCO2削減の波及効果	1,500	2-1
	31	一般	加藤 知道	北海道大学 大学院農学研究院連携研究部門	教授	太陽光誘起クロロフィル蛍光によるブルーカーボン貯留速度の推定	1,500	初 3-1
	32	一般	遠水 洋	早稲田大学 理工学術院国際理工学センター	教授	大気中メタン濃度におけるわが国の排出量削減効果の検出と評価	1,500	継続 3-2
資源循環 (副産物)	33	若手	福永 隆之	九州大学 大学院工学研究院社会基盤部門	助教	鉄鋼スラグを主原料とした環境低負荷型建設材料の開発	1,000	2-1
	34	一般	原 弘行	山口大学 大学院創成科学研究科	准教授	X線CT撮影による不飽和状態の高炉水砕スラグの硬化機構の解明	1,500	1-1
	35	一般	桑原 泰隆	大阪大学 大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻	准教授	製鋼スラグのアップサイクルによるCO2資源化触媒としての利用	1,500	2-1
	36	一般	鈴木 賢紀	大阪大学 大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻	准教授	水熱処理を利用した製鋼スラグからの有価資源回収ルート構築	1,500	継続 2-2
	37	一般	山本 光夫	東京大学 大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻	教授	遺伝子発現解析に基づく沿岸域における鉄欠乏診断手法の検討	1,500	継続 2-2
	38	一般	えらくねす よがらじや	北海道大学 大学院工学研究院 資源循環システム専攻	教授	炭酸化による製鋼スラグの有効活用:炭素回収と重金属固定	1,500	初 3-1
	39	一般	綾野 克紀	岡山大学 工学部都市環境創成コース	教授	高炉スラグによる高耐久PC部材の開発	1,500	3-1
	40	一般	胡桃沢 清文	北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門	准教授	炭酸塩により活性化した高炉スラグ固化体の開発	1,000	継続 3-3
資源循環 (副産物)	41	一般	李 柱国	山口大学 大学院創成科学研究科 感性デザイン分野	教授	鉄鋼スラグを原料とするCO2固定型セメントの開発	1,000	継続 3-3
	42	一般	張 倍結	室蘭工業大学 システム理化学科	教授	鉄鋼産業由来の廃棄ガスを利用したSDGs実現型バイオポリマー産生	1,500	3-1
	43	一般	山末 英嗣	立命館大学 理工学部機械工学科	教授	沈黙の環境コスト:鉄鋼カーボンニュートラル化のパラドックス	1,500	2-1

【第46回(令和7年度)助成研究テーマ一覧】

分野	番号	区分 ^{注1)}	研究者 (敬称略)	所属(大学・研究機関)	役職等	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 ^{注2)} 期間
大気環境	44	若手	芳賀 優弥	大阪大学 大学院薬学研究科	助教	マイクロ・ナノプラスチックの劣化による分解生成物の影響評価	1,000	2-1
	45	若手	小野田 淳人	山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部 薬学科	講師	超微小粒子による認知症リスク増加の機序解明とその予防法の確立	1,000	2-1
	46	一般	猪股 弥生	金沢大学 環日本海域環境研究センター	准教授	ナノ粒子液中捕集の開発と細胞暴露による人へ影響評価	1,500	2-1
	47	一般	長田 和雄	名古屋大学 大学院環境学研究科 地球環境科学専攻	教授	光化学オキシダントの生成に対する越境アルデヒドの影響評価	1,000	継続 2-2
土壌・水質	48	一般	松岡 圭介	埼玉大学 学術院教育学部自然科学講座(化学)	准教授	マイクロバブル水の泡沫分離法を用いた重金属の除去	550	2-1
	49	一般	今井 剛	山口大学 工学部循環環境工学科	教授	排水処理の脱炭素化に資する液膜技術による新規曝気装置の開発	1,000	継続 2-2
	50	一般	濱村 奈津子	九州大学 大学院理学研究院生物科学部門	教授	微生物—鉱物相互作用を活用した戦略金属の再資源化技術	1,500	3-1
	51	一般	野呂 真一郎	北海道大学 大学院地球環境科学研究院 統合環境科学部門	教授	金属有機構造体を用いた水中有害アニオンの高効率分離	1,000	継続 3-2
	52	若手	渡邊 美穂	秋田県立大学 生物資源科学部 生物環境科学科	助教	原油汚染土壌で機能する微生物発電システムの機能解明と環境修復	1,000	2-1
	53	若手	堤 峻太郎	和歌山県立医科大学 薬学部	助教	汚染物質予測を目指した、緑藻の化学物質応答遺伝子群の情報集積	1,000	初 2-1
	54	一般	本多 了	金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系	教授	正浸透膜法を用いたPFAS汚染水処理・再生技術の開発	1,500	3-1
	55	一般	菊川 峰志	北海道大学 大学院先端生命科学研究院 生命機能科学研究部門	准教授	太陽光をエネルギー源とする重金属回収大腸菌の開発	1,500	継続 3-2

注1) 若手研究資格： 令和7年4月1日時点において、次のいずれかに該当する者が主体的に研究を行う研究代表者（申請者）であること

①満年齢39歳（2年計画で申請する場合は38歳）以下の者

②博士号取得後8年未満（2年計画で申請する場合は7年未満）の者

注2) 研究期間：a-b；研究期間a年中b年目、 継続；継続案件、 初；初めての助成研究者